

よくわかる

4セキセル成型トレイ

育苗の手引き



<エダマメ編>

信越用

1. 育苗資材、育苗場所の準備

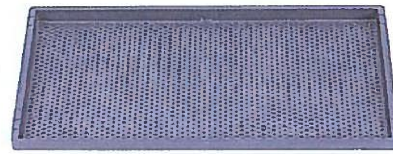
(1) 育苗資材の準備

★ 斗セキセルエース



型式	コードNo.	適応地域
N-80	9809-443-0000-0	信越・東海
N-150	9809-444-0000-0	関西

★ 斗セキ水稻兼用育苗箱



型式	コードNo.	適用地区
Aブルー	9811-201-0081-1	関西以北
Aグレー	9811-201-0081-0	
Aグレー	9811-201-0080-0	中四国
Bグレー	9811-201-0150-0	九州

★ セルトレイ(統一規格)



穴数	コードNo.	備考
128穴	9808-693-0000-0	100枚/1ケース
200穴	9808-694-0000-0	

★ 穴開けローラー



穴数	コードNo.
128穴用	9808-827-0000-0
200穴用	9808-826-0000-0

★ ブラシ



コードNo.
YS20-127-3118-0

★ プレス板: 穴開けローラーの簡易版



穴数	コードNo.
128穴用	9808-689-0000-0
200穴用	9808-690-0000-0
128穴用	9808-695-0000-0

※枝豆専用

※枝豆用は主に播種後、種子を抑えるのに使用します。

★ 播種板(ハンドシーダー)



穴数	コードNo.	
128穴	9809-279-0000-0	イダマメ用φ12
200穴	9809-310-0000-0	イダマメ用φ12

★ 斗セキ野菜発芽器



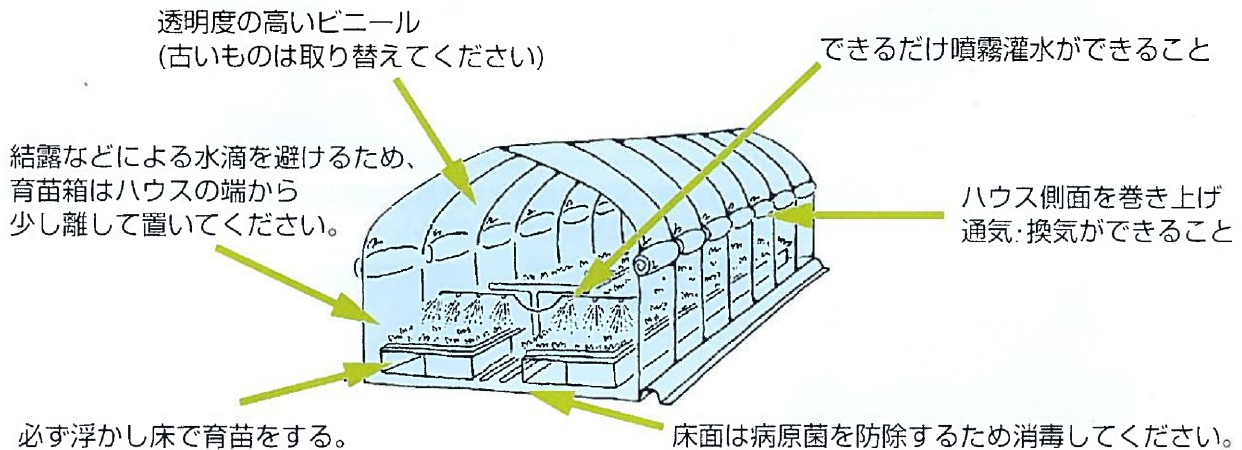
型式	コードNo.	仕様
WR-60CHL-S	9808-328-0006-0	冷暖房機付
WR-60CL-S	9808-328-1005-0	冷房機付

(2) 育苗場所の準備

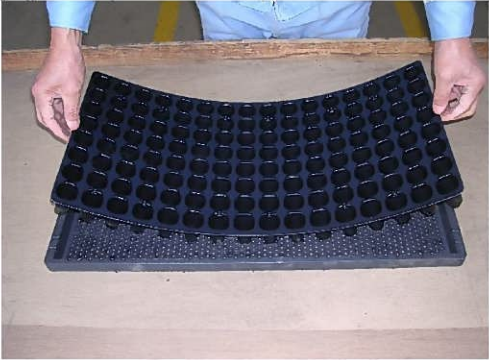



<エダマメ育苗に適した育苗場所の条件>





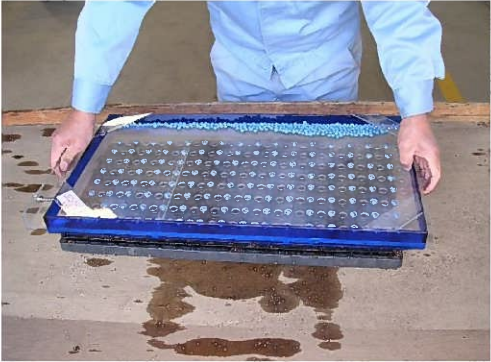
- 保温・換気ができる、温度調節ができる。
- 寒冷時の暖房、保温ができる。
- 雨や風を防ぐことができる。
- 無病地で排水が良く、周辺に病害虫の発生源がない。

★ビニールハウス・パイプハウスの場合



2. 播種方法

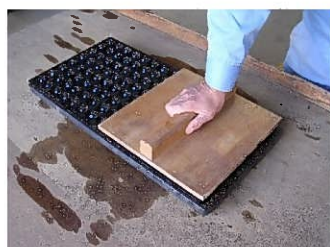
作業内容	ポイント
<p>① 苗箱にセルトレイを入れます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 苗箱を選ぶ際の注意 <ul style="list-style-type: none"> ・セルトレイを苗箱の上に載せたとき、トレイと育苗箱の穴が1個以上合っているもの。 ・箱の底に水が溜まらないもの。 ・変形していないもの。 ・厚み、高さが揃ったもの。 ● セルトレイも変形していないものを使用してください。 ● 一度使用したトレイ・苗箱は消毒液で消毒してください。
<p>② 育苗培土をトレイ全体に少し多めに入れます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 育苗培土の水分を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・手で握って培土が固まる程度で、しかも、その時に水が培土からしたり落ちない程度ならOKです。 ・水分が不足している場合は、水を加えて充分かくはんしてください。 <p style="color: red; margin-top: 10px;">※ 牛セキのセル苗用培土なら開封後そのまま使用できます。</p>
<p>③ 平らな板などで均一にならします。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 均一に土詰めできるように必ず行ってください。 ・均一に土詰めしないと発芽ムラや生育ムラの原因になります。
<p>④ 5cm程度の高さからトレイを2～3回落とし床土をしめます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 凸凹のないところで行ってください。 ● 培土量が少ないと根張りが悪くなります。 ● 均一に土詰めができるように必ず行ってください。

作業内容	ポイント
<p>⑤凹んだ箇所さらに土を詰め、再度均一に慣らします。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●土詰め量のバラツキは苗の生育ムラの原因となりますので均一に土詰めを行ってください。
<p>⑥育苗箱にセルトレイの底から水がにじむまで充分灌水します。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●播種後多量に灌水すると種が流れる恐れがあるので、この時に充分灌水してください。 ※灌水量の目安 約1000cc/箱 ●発芽ムラにならないように灌水は均一に行ってください。 ●徒長を防ぐため基本的には発芽するまで灌水せず、この時の灌水で保たせます。
<p>⑦穴開けローラーで播種穴を開けます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●穴開けローラーに土が付着したら、まめに掃除して取り除いてください。 
<p>⑧播種板を用いて播種します。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●エダマメ専用播種板を使用してください。

作業内容

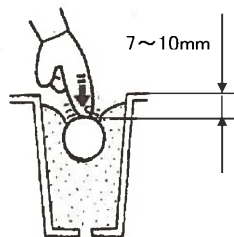
ポイント

⑨ 種子を少し押し込みます。



※プレス板を用いて種子を押し込むこともできます。

- 覆土が薄かったり、播種深さが充分でないと**種子上がり**が生じやすくなるので注意してください。また、深く播種することにより、発芽時に種皮がとれやすくなります。



播種深さの目安



種子上がり



- ※覆土した際、種子が見えなければ、この作業は特に
行う必要はありません。
(種子の大きさによって異なります。)

⑩ 覆土を行います。



- 覆土は種子上がりの防止や種皮のとれやすさからバーミキュライトよりセル培土の方が適しています。
- トレイの表面が見えない程、覆土すると根移りなどを起こす原因となりますので注意してください。



覆土後の状態

⑪ 再度、軽く灌水します。



- 灌水は覆土がなじむ程度でかまいません。
灌水量の目安: 100~200cc/箱
- 一気に灌水すると培土があふれたりしますので、
灌水はゆっくり行ってください。






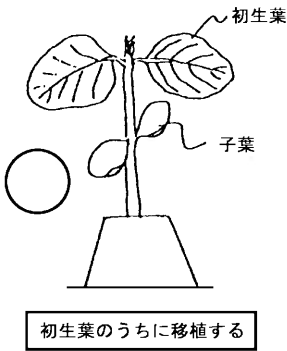
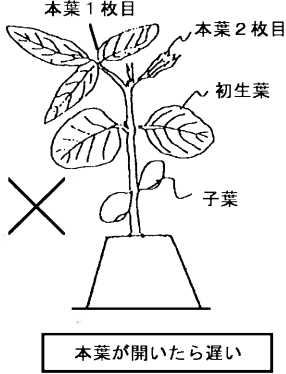
灌水を一気にしたため覆土が流れた状態





3. 発芽方法

主な管理	ポイント
<p><発芽温度></p> <ul style="list-style-type: none"> ●25~30℃を確保できるように発芽器の使用、または被覆資材で保温してください。 <p><発芽期間></p> <ul style="list-style-type: none"> ●25~30℃の状態では1~2日で発芽してきますので、発芽器からの出庫、または被覆資材のはぎ取りを行います。 ●発芽器から出すタイミングの目安 8割程度の種子が少し持ち上がったとき発芽器から出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●エダマメは温度を確保できないと発芽が著しく遅れますので注意してください。 また、種子に栄養を多く含んでいるため、発芽に時間がかかると種子が腐りやすいので注意してください。 ●発芽中は基本的に灌水は行いませんので、乾かないように注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> ●タイミングが遅れると胚軸が著しく伸びてしまい、軟弱な苗となりますので注意してください。  <p>タイミングが遅れ胚軸が伸びた状態</p> <p style="text-align: center; color: red; font-size: 2em;">×</p>
<p><箱並べ></p> <ul style="list-style-type: none"> ●発芽が確認できたらすぐにハウスに移して光をあて胚軸の徒長を抑えます。 ●トレイ周辺の乾燥を防ぎ、均一に育苗するため、トレイは隙間を空けずくっつけて並べてください。 ●トレイは地面に直接置かず、最低15cmは隙間をあけるように並べてください。(浮かし育苗) 	<ul style="list-style-type: none"> ●浮かし育苗(エアープルーニング) 根鉢の形成を良くするため、トレイの底は必ず空気にさらされるように設置してください。 特にエダマメの根は根毛が少なく、根鉢が形成しにくいので注意してください。 

4. 育苗管理

主 な 管 理	ポ イ ン ト				
<p><温度管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ●日中は30℃以上、夜間は18℃以下にならないように管理してください。 <p><灌水管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ●発芽が揃うまでは極端に乾燥しないように管理してください。 ●子葉展開以降は軟弱苗にならないよう、灌水は控え目にし培土の表面が乾いたら灌水を行ってください。 <p><育苗期間の目安></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>寒冷地・高冷地の春まき</td> <td>15～20日</td> </tr> <tr> <td>暖地における春まき</td> <td>10～15日</td> </tr> </table> <p>※温度条件によって変わります</p> <p><移植></p> <ul style="list-style-type: none"> ●移植は本葉1枚目が展開する前に行ってください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><良苗を育苗するための条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ●適正な温度管理を行う。 温度管理の目安: 20～25℃ ●過湿にしない。 ●光に充分あてる。 <div style="text-align: center;">  <p>徒長苗(左2つ)と適正な苗</p> </div>	寒冷地・高冷地の春まき	15～20日	暖地における春まき	10～15日	<ul style="list-style-type: none"> ●トレイの端は乾きやすいので注意してください。生育ムラの原因になります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>初生葉のうちに移植する</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本葉が開いたら遅い</p> </div> </div>
寒冷地・高冷地の春まき	15～20日				
暖地における春まき	10～15日				

5. トラブルとその原因・対処方法

トラブル	考えられる原因	対処方法
<p>● 均一に発芽しない。</p> 	発芽温度が低すぎる	適正な温度を確保してください。
	灌水が少ない	発芽中の水分を適正に保ってください。
	発芽中に乾燥している	
	播種時の灌水にムラがある	播種深さを均一にしてください
	播種深さにバラツキがある	
種子が悪い		
<p>● 苗が徒長する。</p> 	発芽器から出すタイミングが遅い	発芽を確認したら速やかにハウスに移動してください。
	管理温度が高すぎる	換気などを行い、適正な温度管理をしてください。
	過湿になっている	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の温度が確保できている場合はトンネル等を開放してください。 ・夕方には培土表面が乾き気味になるように灌水してください。
	光が不足している	光に充分あててください。
	移植時期が遅い	初生葉展開後、急速に節間が伸びますので速やかに移植してください。
<p>● 苗が不揃いになる</p> 	発芽が不揃い	上記参照
	灌水にムラがある	特にトレイの端は乾きやすいので注意してください。
	光が均一に当たっていない	均一に光に当たるように育苗箱を設置してください。
<p>● 根鉢の形成が悪い</p> 	苗が軟弱な生育になっている	徒長しないように育苗してください。
	根がトレイの下から出ている	<ul style="list-style-type: none"> ・浮かし育苗を行ってください。 ・兼用箱を使用ください。 ・稚苗箱の場合、箱に水が貯まり根が出る場合があります。 ・トレイと育苗箱の間の土を取り除いてください。
	灌水量が極端に少ない	適正な灌水量で管理してください。
<p>● 種子上がりするものが多い</p> 	播種深さが浅い	適正な播種深さで播種してください。
	覆土が薄い	
	床土がしまり過ぎている	床土がしまり過ぎていると、根が下りにくくなり種子が浮いてしまうので注意してください。特に床土の土や砂の割合が高いと生じやすので有機質の多い培土を使ってみてください。